

# 学クラ新聞

第16号

福岡市内の全小中学校では、2016年度より学力パワーアップ総合推進事業の教材として、『みんなの学習クラブ』をご導入いただいています。市内の2校の活用の取り組みについて、ご紹介します。

## 児童の計算力がアップした！

～ 福岡県 福岡市立南当仁小学校 ～



### 南当仁小学校の主な活用シーン

- ・ 帯タイム（火曜日15分）
- ・ 授業（少人数指導）
- ・ ふれあい学び舎（火曜・水曜）3年生

### 帯タイム

毎日10時25分～40分を帯時間としてさまざまな学習をしています。毎週火曜日は、iプリなどを使って、計算力などの基礎基本の定着を図っています。

### 習熟度別の授業

授業で使う練習プリントとしても活用しています。5～6年生は、習熟度別に2つのクラスに分かれて学習しています。「じっくりコース」は、担任の先生が少人数で一人ひとりに合わせて、きめ細やかに学習を支援しています。一方、「どんどんコース」では、少人数指導の先生を中心に全体を見ながら、児童自身で答え合わせをするように指導しています。

### 特別支援学級／個への対応

特別支援学級では、一人ひとりの課題が違うので、前の学年の問題に取り組みなど、個に応じた指導のためにプリントを活用しています。



### 職員室でのプリント準備

各学年にどんなプリントがあるのかわかるように、ファイルに綴じています。クラス担任をしていない、少人数指導の先生が中心となってプリントを準備しています。全学年の担任の先生と連携しながら、進度や習熟度に合わせてプリントを作成しています。



### 活用してよかったこと

#### ◆児童の練習量が増えた

これまでは毎日プリントを作成するのが大変でしたが、プリント作成の手間が減りました。また、教科書の問題を解き終えた後、さらに問題を解きたいときにiプリがぴったりでした。たくさん練習ができたのもよかったです。

#### ◆達成感を感じられた

毎回同じ形式のプリント(iプリ)が使えるので、児童が形式になれ、「できた!」という達成感を感じながら取り組むようになりました。

#### ◆計算力がついた!

特に5年生でつまずきの多い、小数のかけ算やわり算の単元で、通過率9割に達しました。児童の計算力が高まったのを実感できました。

# 生徒が学習しやすいプリント!

～ 福岡県 福岡市立原北中学校 ～



単元のまとめの段階で、iプリを使って授業を行いました。単元によっては、単元テストを活用しています。先生がプリントを配付し演習を行います。生徒は、班学習で学び合いながら学習をしています。

## 授業の中の班学習で

・授業 / 家庭学習

原北中学校の主な活用シーン



## 家庭学習用のプリントとして

### ◆iプリの問題をテストで出題

家庭学習用のプリントとして、iプリを配付して活用しています。プリントの問題の中からテストに出題しました。

### ◆プリントを廊下にストック

生徒からプリントが欲しいというリクエストがあったので、廊下にプリントを準備しています。問題と解答を両面で印刷しています。先生からのメッセージも掲示しています。



生徒も積極的で、すぐにプリントがなくなり、必要ならプリントを補充しています。

## プリントはファイルへ

普段から行っているプリント学習のファイルと一緒に『みんなの学習クラブ』のプリントも綴じています。生徒の学習の積み重ねを「見える化」しています。



## 活用してよかったこと

### ◆解答がわかりやすい!

生徒からも「解答がわかりやすい」という声が聞こえてきました。これまでの教材では、計算の途中の式が解答に書かれていないこともあり、数学が苦手な生徒から「どうしてこのような計算になるかがわからない」という質問がよくありました。『みんなの学習クラブ』の解答には、計算の過程が丁寧に書かれているので、数学が苦手な生徒からもわかりやすいと好評です。

